

地域住民との対話を重視した

被災した公民館を再建する「みんなの家」



大津町高尾野地区での意見交換会



西原村風当地区での意見交換会

「日本財団わがまち基金」を活用し、被災した10地区の地区公民館を再建し、「みんなの家」とするプロジェクトを進めている。整備するにあたり、復興に向けた地域づくりの拠点として、また、災害時の避難場所としても活用できるよう、設計者と住民の皆さんで意見交換会を全ての地区で実施した。意見交換会では、「災害時に有効に使える軒下空間はありがたい。」「幅広い世代が集えるような空間にしたい。」などの意見があり、それを踏まえて設計が進められている。

設計が完了した地区では、住民の皆さんによる安全祈願祭や上棟式（餅投げ）が行われ、完成が待ち望まれている。



甲佐町麻生原地区での安全祈願祭の様

● 設計者 千葉学 / 千葉学建築計画事務所
大津町新小屋、同町高尾野、西原村大切畑、
嘉島町上六嘉、同町北甘木のみんなの家

塚本由晴 + 貝島桃代 + 玉井洋一 / アトリエ・ワン
大津町上揚、西原村風当、同村下小森、南阿蘇村立野駅、
甲佐町麻生原のみんなの家

第23回 くまもとアートポリス推進賞 表彰式

第23回を迎える「くまもとアートポリス推進賞」には、総数37点の応募があった。用途、規模など、様々な作品の中から推進賞として、「錦ヶ丘の家」「合志マンガミュージアム」「川尻の町家」「MU-HOUSE」推進賞選賞として「尚綱大学短期大学部附属こども園」「園田教材社」「町営住宅倉原団地」が選ばれた。1月31日に熊本県庁において、表彰式を行った。



寿プロジェクト

建築家・西沢立衛氏を招いて第9回けんちく寿プロジェクト「熊本駅の現在と未来を寿ぐ」を開催！

2月16日に、けんちく寿プロジェクト実行委員会と共催して、熊本駅白川口駅前広場（駅広）の設計に関わる建築家・西沢立衛氏を招いて、講演会やトークイベントを開催した。当日は学生や建築関係者ら約100名が参加した。西沢氏の講演では「環境と建築」をテーマに駅広を含めた近作が紹介され、「公園のような広場にしたい」と、これから整備する駅広への思いを話す場面もあった。



くまもとアートポリスを県政テレビで紹介！

くまもとアートポリスの取り組みを県政テレビ「くまモンしあわせ彩熊記」で2月20日に放送した。30周年記念シンポジウムや、南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発ランドデザインなどについて紹介した。



放送回は、こちらからご覧いただけます。

▶ 第42回放送 「後世に残る優れた建造物を創るモン！」



2018
8.19
SUN

くまもとアートポリスこども建築塾2018
楽しく過ごす夏休みの家づくり ～空間づくりワークショップ～

開催場所 | 熊本県庁行政棟新館1階ロビー 参加児童 | 31人(72人の応募者から抽選)
講師 | 吉岡 寛之(建築家・神奈川大学特別助教) ボランティアスタッフ | JAGDA(公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会)、
協力 | 高橋 直彦(左官職人) 大学生(崇城大、熊本県立大)、熊本県職員

募集定員20人に対して72人の応募が集まった「こども建築塾2018」。参加者を増員し、抽選で選ばれた小学4年生から6年生までの31人が会場に集合。「楽しく過ごす夏休みの家」づくりに挑んだ。



土に触れ、光と風を感じる模型作りに挑戦



講師は、建築家であり、神奈川大学の特別助教でもある吉岡寛之氏。講話では、自然素材を使った、光と風を感じる空間の紹介があった。



子どもたちは10のグループに分かれて制作をスタート。窓を切り取る作業では、たくさんの天窓や、ハート型、

丸型といった豊かな発想で自由な窓が作られた。途中、屋外の庭園で光の入り具合や風の流れを確認したりして、吉岡氏の「窓を考えるだけで、建築の可能性が広がる」という言葉を実践していた。

自然素材で仕上げ作業。思い思いの「夏休みの家」に



骨組みとなる家の形を整えた後は、自然素材を使った仕上げに。左官職人の高橋氏の指導のもと、土壁の材料である土と砂、わらを混ぜ合わせ、それを家や庭に塗り付ける。最初は戸惑う姿が見られたが、仕上がるにつれ完成

を目指し作業に没頭する子どもたち。最後は、持参したビー玉や落ち葉で飾りつけ。出来上がった作品は、屋外の芝生の上でひとつずつ撮影され、その画像を見ながら、ひとりずつ発表を行った。「おはじきで海を表現した」「壁にビーズをつけてポルダリングができる家にした」「池をつくって自然を楽しむ家」など、思い思いの「夏休みの家」を発表した。

子どもたちの感想

庭をつくったのがとても楽しかったです。(小6)

土がくずれやすく、たいへんだったことが心に残りました。(小5)

けんちくのまどには、いろいろなくふうがあるということがわかり、とてもたのしかったです。(小5)